

GA CCC
CC AAAA GGCC I
ATAAGA CTCTAACT CI
AA TAATC

AAT A TCTATAAGA CTCT/
CTCGCC AATTAATA
ATTAATC A AAGA C CTA
AAT A TCTATAAGA CTCTAACT
CTCGCC AATTAATA
TTAATC A AAGA C CTA
AAT A TCTATAAGA CTCTAACT

米国:オバマ大統領一般教書演説2011

【参考資料】

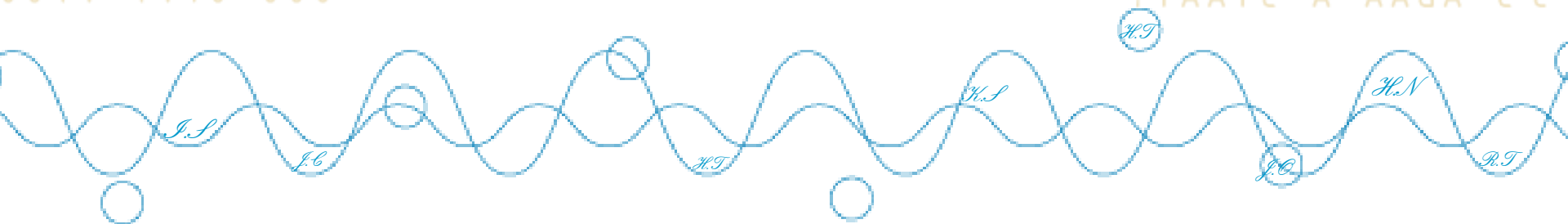
演説全文: White House, Remarks by the President in State of the Union Address, Jan 25, 2011

<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2011/01/25/remarks-president-state-union-address>

演説直後のプレスリリース: FACT SHEET: The State of the Union: President Obama's Plan to Win the Future

<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2011/01/25/fact-sheet-state-union-president-obamas-plan-win-future>

0011 1110 000



Center for Research and Development Strategy – Japan Science and Technology Agency

独立行政法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター

海外動向ユニット



概要

- 一般教書演説(State of the Union Address)は、大統領が議会に向け、国政の現状や主要な施政方針を説明するために毎年行う演説。1月最終の火曜日に行われるのが通例
- 2011年は1月25日(火)午後9時過ぎ(日本時間26日(水)午前11時)から約1時間演説
- 本年の演説では、「Winning the Future(未来を勝ち取る)」をキーワードに、イノベーションによる競争力強化やインフラ整備による雇用促進を訴えた
- その第一歩として「イノベーションの奨励」を全面的に取り上げ、クリーン・エネルギー開発への投資など科学技術分野への研究開発投資を強調
- 技術革新の担い手としてのSTEM教育の重視
- 企業の活性化を柱として掲げ、法人税率の引き下げ等、企業支援に軸足を置く方針を鮮明に
- 昨年同様、経済が全体の8割を占めた。中国、インド等新興国の台頭を意識した内容(「Sputnik Moment」)。
- 中間選挙で躍進した共和党に対しては超党派による挙国一致を呼び掛けた

「未来を勝ち取る」競争力強化策(1)

■ クリーン・エネルギーなどの技術革新

- 「我々の時代のアポロ計画」
- R&D投資のGDP比をケネディ大統領以来最高レベルに増大させる
- クリーン・エネルギー技術関連予算への財政支援を3割増
- 石油企業等に対する年間40億ドルの補助金を廃止
- 2015年までに次世代自動車を100万台普及させる
 - 08年にも同様の目標に言及
- 2035年までに電力の8割を原子力・風力・太陽光・石炭・天然ガスに転換する
 - 非化石燃料による発電は現在は3割程度
- 「イノベーションと教育への投資を減らすことで財政赤字を削減するのは、飛行機を軽くしようとエンジンを取り去るようなものだ。最初は高く飛べてもすぐに墜落するだろう。」

■ 高速鉄道、インターネット網などの社会基盤整備

- 25年以内に8割の国民が高速鉄道を利用できるようにする
- 5年以内に高速無線インターネットで人口の98%をカバーする

「未来を勝ち取る」競争力強化策(2)

■ イノベーションの担い手を育てる教育

- 10年間で新規に10万人のSTEM教育分野の教員を雇用
- 10年以内に人口当たりの大学卒業者割合を再び世界一に
- 「Race to the Top(頂上へのレース)」プログラムを成功例として評価
 - 教員の質と生徒の成績を上げるために最も革新的な計画を提案した州に補助金を与えるもの
- Pell Grantの強化等で大学入学・卒業の促進
 - 教育省が実施する低所得者層向けの奨学金。

■ 税制改正や規制撤廃などの行政改革

- 25年ぶりの法人税率引き下げ
- 2014年までに輸出倍増を目指す

■ 財政赤字の削減

- 非国防関係の政策支出の伸びを5年間凍結
- 10年間で4000億ドルの赤字削減を見込む
- 昨年的一般教書では3年間としていた
- 連邦職員給与を2年間据え置く

新興国への言及

■ 中国

- 「科学と数学に重点を置いた早期教育と研究や新技術に投資」
- 「世界最大の民間の太陽光研究施設があり、世界最速のコンピューターがある」
 - 「太陽光研究施設」とは以下の2拠点のうちどちらかと思われる
 - 米アプライド・マテリアル (Applied Materials, Inc) が2009年に西安に開設した「ソーラー・テクノロジー・センター」
 - 中国山東省徳州市で2010年11月16日に設立された「国際ソーラーエネルギー技術科学研究所」
 - 「世界最速のコンピューター」とは国防科学技術大学が開発したスーパー・コンピューター「天河1A」
- 「高速列車や新しい空港を次々に建設」

■ インド

- 「科学と数学に重点を置いた早期教育と研究や新技術に投資」

■ 韓国

- 「教師を『国を築く者たち (Nation Builders)』と呼んでいる」
- 「インターネット網は米国よりも優れている」

■ ロシア

- 「道路や鉄道への投資は米国よりも多い」